

★（再掲／2月号より）

～要求解釈（複数解釈）の重要性～

解釈ができなければ問題本文を何百回読んでも根拠は見つからない！

→つまり、対応付けもできない（涙）

★対応付けとは

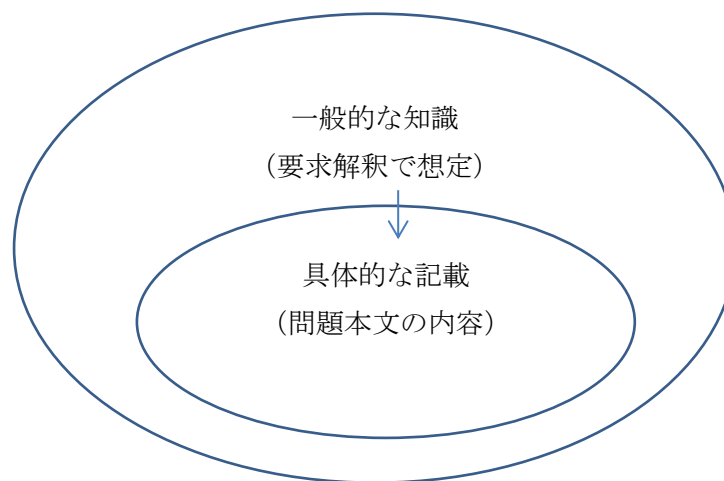
「要求解釈（複数解釈）→大枠把握（問題本文一読）」が終わった後、各問題に使用する根拠を対応付けること。これを間違えると何をどう書いても得点にならない！！

●対応付けのコツ①

要求解釈は「一般的な知識の想定」に対して、

問題本文は「具体的な記載」

→よって、「一般的知識から具体的内容」を結びつける必要がある。



一般的な知識をもってして、問題本文の具体的な根拠を捕まえにいくイメージ！

（例）平成23年度事例Ⅰ 第2問（配点20点）

厳しい競争を展開している医療品業界にあって、新商品や新規技術の開発は極めて重要である。しかし、そうした中で、A社では、自社開発した技術の特許をあえて出願しないこともある。その理由として考えられることを、100字以内で説明せよ。

☆合格サポート定期便
「2次試験合格道場」4月号

→一般的な考えられるのは

- ・出題の手続きが面倒
- ・出題後の模倣のリスク
- ・模倣された際の対処（裁判などが面倒）

が考えられるが、これはあくまでも「一般的な知識」である（ここが想定できないのは、1次知識が不明確であることが想定されるので、知識を補填する！）。

→よって、「問題本文の具体例」に当てはめる必要がある。

（問題本文）

■第2段落

「また、わが国とは法や規制の異なる欧州や米国、今後の成長が期待される中国など海外の市場開発にも積極的に取り組み始めている。」

→要求解釈で行った3つのことが、いずれも当てはまりそう。

（解答例）

法	や	規	制	が	異	な	る	海	外	で	の	特	許	出	題	は	、	特	許
出	題	の	手	続	き	が	煩	雑	で	あ	り	、	ま	た	海	外	の	市	場
開	発	に	積	極	的	に	取	り	組	み	始	め	た	A	社	に	と	っ	て
特	許	出	願	を	通	じ	て	技	術	が	模	倣	さ	れ	る	懸	念	や	模
倣	さ	れ	た	際	の	裁	判	な	ど	も	手	間	が	掛	か	る	た	め	。

●対応付けのコツ②

接続詞に着目する。

→接続詞の前後で対応付けが変わることがある！

(例) 同事例問題本文

■第2段落

「近年の国内の景気低迷の中にあっても、毎年1億円程度の増収を達成している。また、わが国とは法や規制の異なる欧州や米国、今後の成長が期待される中国など海外の市場開発にも積極的に取り組み始めている。」

→「また」の前は第4問、後ろは第2問となる。

○接続詞

「また」「さらに」「しかし」「なお」「ちなみに」「その結果」など。

→大枠把握の時に、文章を読むスピードを落とさない程度に印を付けておくと効率的！

●対応付けのコツ③

全問題への対応付けの後、「使っていない段落、文章」があれば、その段落・文章を全問題にあてがってみる。

(例) 平成24年度事例Ⅱ 第2問(設問2)

B社が行った水平的な提携は、提携先企業にとってどのようなメリットがあったと考えられるか。100字以内で答えよ。

■第9段落

「なお、これらの提携による共同開発製品は従来から用いられてきた自社工場を大規模に改修することなく、生産が行われている。また、製品のラベルには製造者としてB社の名称が、販売者として提携先の企業の名称が記載されている。」

※この「自社」とは「Y社」のこと。

→第9段落「また」の前半は(ついでに書くと後半も)、一度の対応付けではなかなか対応付けるのが難しかった。よって、「自社工場を大規模に改修することなく、生産が行われている」という文章を持ってして、全問題で使えないかどうか？を検討する。

→この作業をやると、必然的に第2問(設問2)でしか使えないと判断できる。

必ず得点になる！(一方で、書いている再現解答は非常に少なかった)。

☆合格サポート定期便
「2次試験合格道場」4月号

●対応付けのコツ④

「なお」「しかし（逆説）」は必ず使う！

（例）同事例

■第2段落

「なお、X市の主な産業は畜産業、酒造業、陶器製造業などである。2000年代に入り大規模な陶器工場が撤退するなどの影響もあり、経済的にはやや縮小傾向にあり、それに伴って市内人口も減少傾向にある。」

→3つの産業は使う！

→さらに、経済衰退（人口減少）もそのまま知らんぷりはダメ！（診断士なので）。

今日のまとめ（4月号）

～対応付け～

その1 「一般的知識から具体的内容」を結びつける。

その2 接続詞に着目する。

その3 「使っていない段落、文章」があれば、その段落・文章を全
問題にあてがう。

その4 「なお」「しかし（逆説）」は必ず使う！

2次演習記録 No

問題名：

日付：

《事前の課題 // 実際の作業 // 分析》

《確認事項： 配点順位：問題数：問題文しぼり：解答順序：設問間のつながり：解答一貫性
SWOT 分析：因果関係：リスクヘッジ解答：漢字間違い：その他 _____》

《時間がなくなった時、題意を捉えられなかった時等の感情 // 分析》

《失敗要因 // 洞察 // 分析》

《総合評価・教訓・学習事項 / 分析》

総合評価

_____ 点